



# StationTV<sup>®</sup>

for Mac

## 取扱説明書

### テレビを見る

デジタル放送を見るときの操作を説明します。



### ご利用前の準備

テレビを見るための準備と初回設定について説明します。

### 基本操作

画面の基本的な操作やメニューの機能を説明します。

### 便利な使い方

視聴制限やチャンネルリストなどの機能を説明します。

インストールとアンインストール

起動と終了

Q&A

目次

本書について

使用上のご注意

お問い合わせ先

はじめに.....	3	基本操作 .....	9	Q&A.....	24
■本書について .....	3	■画面説明.....	9	■デジタル TV チューナーとの接続・通信 .....	24
■使用上のご注意 .....	4	■メニュー操作 .....	10	■テレビの視聴 .....	25
ご利用前の準備.....	5	■Apple Remote での操作.....	12	■その他.....	26
■Wi-Fi の設定とかんたん接続 .....	5	テレビを見る .....	13	StationTV i についてのお問い合わせ先....	27
インストールとアンインストール .....	7	■チャンネル切換 .....	13		
起動と終了.....	8	■音量調節 .....	14		
		■ウィンドウサイズ切換.....	15		
		■番組情報 .....	16		
		■字幕表示 .....	17		
		■音声切換 .....	18		
		チャンネルリストを編集する .....	19		
		チャンネルを再スキャンする .....	20		
		視聴年齢を制限する .....	21		
		ネットワークの設定値を調整する .....	22		
		初期化する.....	23		

# はじめに





## 本書について

StationTV i for Mac (以降「StationTV i」と表記します)は、お使いの Mac でテレビ放送を見ることができるアプリケーションです。

専用のデジタル TV チューナーとお使いの Mac を無線 LAN で接続して、ハイビジョンの映像を楽しむことができます。

- 本書では Mac の基本的な操作については記載していない場合があります。メニューの選択やウィンドウ操作などは Mac の一般的な操作手順に準拠しております。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点などがございましたら弊社ユーザーサポートセンター (P.27) へご連絡ください。
- 本書で使用しているアプリケーション画面は、製品開発中の画面であり、実際とは異なる場合があります。
- 本書の閲覧には Adobe Reader を使用されることをおすすめします。

本書では以下のマークを使用しております。

マーク	内容
	このマークをクリックすると、トップページに戻ります。
	このマークのある項目は、気を付けていただきたい内容について記述しています。
	このマークのある項目は、参考にしていただきたい内容について記述しています。
	このマークのある項目は、参照していただきたい関連項目や内容について記述しています。

## 商標

- Mac、OS X、MacBook、MacBook Air、iMac、iPhone、iPad は Apple Inc. の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- Adobe、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国および / または各国での商標または登録商標です。
- その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標もしくは登録商標です。
- 本書では © および ™ などの商標マークは省略させていただく場合があります。

## 使用上のご注意

### StationTV i について

- StationTV i で受信したコンテンツについて、制作者の著作権を侵害するような行為を行うと、著作権法に基づき罰せられることがあります。
- StationTV i は、映像の受信に Wi-Fi を使用しています。
- StationTV i と他のテレビ視聴ソフトウェアとの同時使用は保証いたしません。

### StationTV i の起動や Mac の接続方法について

- Mac とデジタル TV チューナーを Ethernet (有線 LAN) で接続することはできません。
- Mac に外付けの無線 LAN 機器を接続して StationTV i を使用することはできません。
- デジタル TV チューナーを 2 台以上同時に接続することはできません。
- デジタル TV チューナーの通信方法の変更は iPad や iPhone から操作してください。
- StationTV i の多重起動はできません。
- 起動中はスリープやスクリーンセーバーへの自動移行はできません。
- 緊急警報放送による自動起動には対応していません。
- 画面共有の動作中は視聴できません。

### 視聴について

- フルハイビジョンには対応していません。
- BS デジタル放送の階層変調放送には対応していません。
- 緊急警報放送には対応していません。
- データ放送には対応していません。また、データ放送専用番組の表示はできません。
- デジタルテレビ放送のイベントリレーおよび放送ダウンロードのサービスはご利用になれません。
- 番組内にマルチ映像が存在する場合、視聴できるのは第 1 映像だけです。
- 番組の映像を外部ディスプレイなどに出力することはできません。
- 起動中は、画面キャプチャができません。

### 音声について

- 番組の音声を外部スピーカーなどにデジタルで出力することはできません。
- 番組の音声は 5.1ch サラウンドで放送されている場合でも、出力される音声は 2ch に変換されます。

## 動作環境

本製品をご利用いただくために必要な環境です。

- この動作環境は、テレビの視聴を行うために最低限必要なパソコン環境です。すべての機能の動作を保証するものではありません。

### ■ 対応機種

Dual-Core に対応した Intel CPU 搭載のディスプレイ一体型 Mac

- MacBook Pro
- MacBook Air
- iMac

\* デジタル放送コンテンツ保護規定のため、ディスプレイ一体型の機種にのみ対応しています。

\* Mac 本体の改造や StationTV i の改ざんなどを行った環境では使用できません。

### ■ 対応 OS

- Lion (Mac OS X v10.7.3) 以降
- Mountain Lion (Mac OS X v10.8) 以降

\* 2012 年 7 月時点での対応状況です。最新情報はホームページ (<http://www.pixela.co.jp/>) に掲載しています。




# ご利用前の準備

## Wi-Fi の設定とかんたん接続

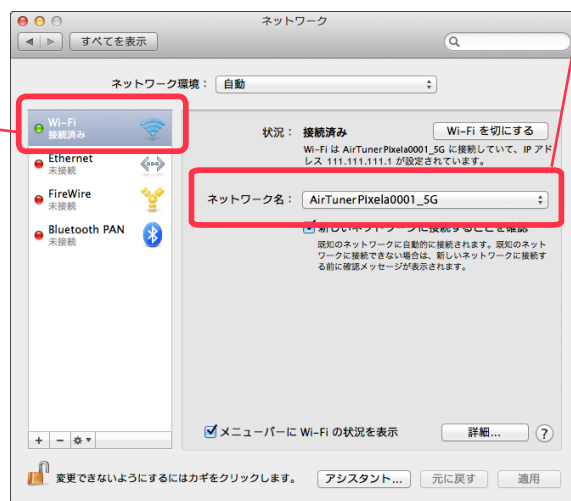
お使いの Mac を Wi-Fi でデジタル TV チューナーに接続します。

※デジタル TV チューナーのセットアップを完了しておいてください。

### 1. Mac をデジタル TV チューナーに接続する

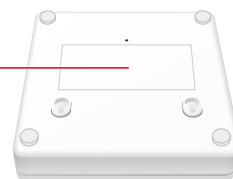
1 Dock またはアップルメニューから [システム環境設定]  を起動します。


2 [ネットワーク] の [Wi-Fi] をクリックします。



3 「ネットワーク名」でデジタル TV チューナーの本体底面に記載されている「SSID」と同じ名称 (デジタル TV チューナーのアクセスポイント) を選択します。

SSID

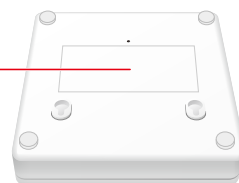


 アクセスポイントが2つ表示される場合は、末尾に「5G」が付く 5.2GHz 帯の方を選択することをおすすめします。


\* アクセスポイントが表示されるまでに時間がかかる場合があります。また、Mac がデジタル TV チューナーから離れていると表示されない場合があります。

4 パスワードの入力画面で、デジタル TV チューナーの本体底面に記載されている「KEY」と同じ文字列を入力して、[接続] をクリックします。


KEY



\* エラーメッセージが表示される場合は、「SSID」と「KEY」に間違いがないかを確認して、再度入力してください。

 デジタル TV チューナーの通信方法が「ST モード」の場合は、使用する無線ルーターの SSID とパスワードを選択/入力してください。

### 2. StationTV i をインストールする

1 ダウンロードした [StaionTV\_i\_for\_Mac\_xxxxx.dmg] を解凍し、 アイコンを起動ディスクの [アプリケーション] フォルダに移動します。


\* [StaionTV\_i\_for\_Mac\_xxxxx.dmg] の [xxxxx] はバージョンによって異なります。

➡ 以上でインストールは完了です。

引き続き、初回起動とかんたん接続 (P.6) を行ってください。

インストール後、はじめて StationTV i を起動したときは、「かんたん接続設定」を行う必要があります。

### 3. 初回起動とかんたん接続

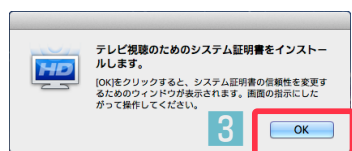
**1** アプリケーションフォルダの  アイコンをダブルクリックします。

➡ StationTV i が起動し、シリアルキーの入力ウィンドウが表示されます。

**2** シリアルキーを入力して、[OK] をクリックします。

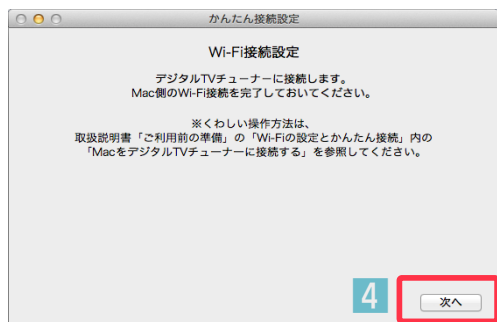


➡ TV 視聴のためのシステム証明書のインストール画面が表示されます。



**3** [OK] をクリックして、画面の指示にしたがって操作します。

➡ 引き続き、「かんたん接続設定」の画面が表示されます。



**4** [次へ] をクリックします。

➡ デジタル TV チューナーとの接続が始まります。確認されるまでに時間がかかる場合があります。

**!** 接続に失敗する場合は、以下をご確認ください。

- デジタル TV チューナーのセットアップが完了していますか？
- Mac 側の Wi-Fi 設定 (P.5) が完了していますか？

**5** 「デジタルTV チューナー接続完了」という画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

➡ チャンネルスキャン画面が表示されます。

**6** [地域] をクリックして、受信する地域を選択します。

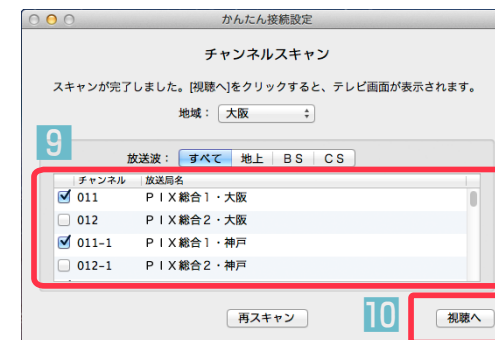
**7** 受信する放送波 ([すべて] / [地上] / [BS] / [CS] のいずれか) をクリックします。



**8** [スキャン開始] をクリックします。

➡ スキャンの完了まで数分かかります。画面下部の進捗が 100% になるまでお待ちください。

**9** 利用するチャンネルにチェックマークをつけます。



**10** [視聴へ] をクリックします。


➡ 視聴画面ウィンドウが表示されます。



以上でかんたん接続設定は完了です。

# インストールとアンインストール

## StationTV i をインストールする

- 1 ダウンロードした [StaionTV\_i\_for\_Mac\_xxxxx.dmg] を解凍し、  
 アイコンを起動ディスクの [アプリケーション] フォルダに移動します。


\* [StaionTV\_i\_for\_Mac\_xxxxx.dmg] の [xxxxx] はバージョンによって異なります。



以上でインストールは完了です。

## StationTV i をアンインストールする

\* 「ネットワークの設定値を調整する P.22」で設定を変更している場合は、調整した設定値を元に戻してください。

- 1 [アプリケーション] フォルダの  アイコンを削除します。
- 2 キーボードの [option] を押しながら、Finder のメニューバーの [移動] をクリックし、[ライブラリ] を選択します。
- 3 [Preferences] フォルダの以下のファイルを削除します。
  - [jp.co.pixela.StationTV-i.plist]
  - [jp.co.pixela.StationTV-i.plist.lockfile] (OS X v10.7 のみ)
- 4 [Preferences] - [ByHost] フォルダの以下のファイルを削除します。
  - [jp.co.pixela.StationTV-i.XXXXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXX.plist]
  - [jp.co.pixela.StationTV-i.XXXXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXX.plist.lockfile] (OS X v10.7 のみ)


\* xxxxxxxxxxxx の部分はご使用の環境によって異なります。
- 5 起動ディスクの [アプリケーション] - [ユーティリティ] - [キーチェーンアクセス] 画面で、以下のファイルを削除します。
  - [StationTV i]

以上でアンインストールは完了です。

## 起動する


- [アプリケーション] フォルダの  アイコンをダブルクリックします。

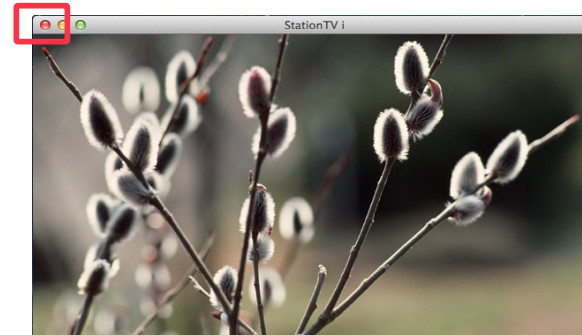


-  アイコンを Dock に登録している場合は、アイコンをクリックすることでも起動できます。



## 終了する

- 視聴画面ウィンドウを閉じると終了します。  をクリックします。



### メニューバー

[StationTV i]

[StationTV i を終了]



### ショートカットキー



# 基本操作

## 画面説明

StationTV i の基本的な画面です。



The screenshot shows the StationTV i application window. The top menu bar includes 'StationTV i', 'ファイル', '編集', '選局', '制御', '表示', 'ウィンドウ', and 'ヘルプ'. The main content area displays a video of a wooden tray with olive oil, olives, and herbs. A smaller window is overlaid on the video, showing a program title bar with '(011) P | X 総合1・大阪' and '本日のお料理! 「オリーブオイルを使...」'. A full-screen button is visible in the top right corner of the video window.


- メニュー**  
StationTV i についての操作を行います。  
P.10 メニュー操作
- フルスクリーン表示ボタン**  
視聴画面を画面いっぱいに表示します。  
P.15 フルスクリーンで表示する
- 番組名**  
視聴中の番組名です。  
P.16 今見ている番組の情報を表示する
- 放送局名**  
視聴中の放送局名です。
- チャンネル番号**  
視聴中のチャンネル番号です。
- 視聴画面ウィンドウ**  
番組の映像が表示されます。  
視聴画面をクリックすることにより、「チャンネル番号」「放送局名」「番組名」の表示／非表示が切り換わります。




## メニュー操作

StationTV i についてのさまざまな操作を行います。\*ショートカットキーで操作できる項目には、ショートカットキーのマークを表示しています。

### Station TV i

StationTV i について	StationTV i の情報を表示します。 アプリケーションのバージョンを確認できます。	
サービス ...	この項目は Mac の操作メニューです。	
StationTV i を隠す	⌘ H	StationTV i のウィンドウを非表示にします。
他を隠す	⇧⌘ H	StationTV i のウィンドウ以外を隠します。
すべて表示		起動中のすべてのアプリケーションのウィンドウを表示します。
StationTV i を終了	⌘ Q	StationTV i を終了します。  P.8







### ファイル

ウィンドウを閉じる	⌘ W	前面のウィンドウを閉じます。 視聴画面ウィンドウが前面にある場合は StationTV i を終了します。
情報を見る	⌘ I	視聴中の番組に関する情報を表示します。  P.16

### 編集

テキスト入力、削除、選択などの操作ができます。  
操作内容については Mac の一般的な操作方法に準拠します。

### 選局


チャンネルアップ	⌘ +	チャンネルを昇順で切り換えます。  P.13
チャンネルダウン	⌘ -	チャンネルを降順で切り換えます。  P.13
チャンネル番号入力 ...	⌘ D	チャンネル番号を入力してチャンネルを切り換えます。  P.13
地上		地上デジタル放送で選局できるチャンネルを一覧で表示します。  P.13
BS		BS デジタル放送で選局できるチャンネルを一覧で表示します。  P.13
CS		CS デジタル放送で選局できるチャンネルを一覧で表示します。  P.13

### 制御

マルチ音声	視聴中の番組に複数の音声（デジタル放送のマルチ音声チャンネルサービス）が含まれている場合、音声を切り換えることができます。  P.18
音声多重	視聴中の番組に複数の音声チャンネル（「主」 / 「副」 / 「主+副」）が含まれている場合、音声を切り換えることができます。  P.18
字幕	字幕の表示や言語の設定をします。  P.17
文字スーパー	文字スーパーの表示や言語の設定をします。 *文字スーパーは、ニュース速報や気象警報など、番組とは関係なく表示される情報です。  P.17
チャンネルスキャン ...	チャンネル情報を更新します。 チャンネル切り換えで使用するチャンネルリストを編集することもできます。  P.19  P.20
B-CAS カード情報 ...	B-CAS カードの情報を表示します。
チューナー情報 ...	デジタル TV チューナーの情報を表示します。
受信レベル ...	放送波の受信レベルを確認することができます。
視聴年齢制限 ...	年齢制限付きで放送されている番組に対して、暗証番号が入力されるまで映像を表示させない機能です。対象年齢を設定することもできます。  P.21
契約更新 ...	有料放送を視聴するために登録された個別情報をスキャンします。 *通常は放送波を通じて自動更新されます。
放送局からのお知らせ (x)...	放送局から送信されるメール形式のお知らせを表示します。 * (x) には未読のお知らせの数が表示されます。
ボード ...	CS デジタル放送局が、視聴者へお知らせを掲載している電子掲示板の情報を取得します。
ネットワーク調整 ...	Mac のネットワークの設定値を調整します。 *視聴中に映像が数秒ごとに止まるなどの問題が発生した場合に調整すると、改善する場合があります。  P.22
初期化 ...	StationTV i の初期化を行います。設定やお知らせなどの情報がリセットされます。  P.23

メニュー操作

## 表示

自動表示メッセージを消去	視聴中に表示されるメッセージを消去します。 * 消去できないメッセージもあります。	
フルスクリーンにする	⌘ F	視聴画面ウィンドウを画面いっぱいに表示します。  P.15

## ウィンドウ

常に手前に表示	視聴画面ウィンドウを常に一番手前に表示します。
しまう	StationTV i を Dock に格納します。
拡大／縮小	視聴画面ウィンドウを拡大または縮小します。
すべてを手前に移動	StationTV i のウィンドウをすべて手前に表示します。
<表示中のウィンドウ>	現在表示しているウィンドウです。

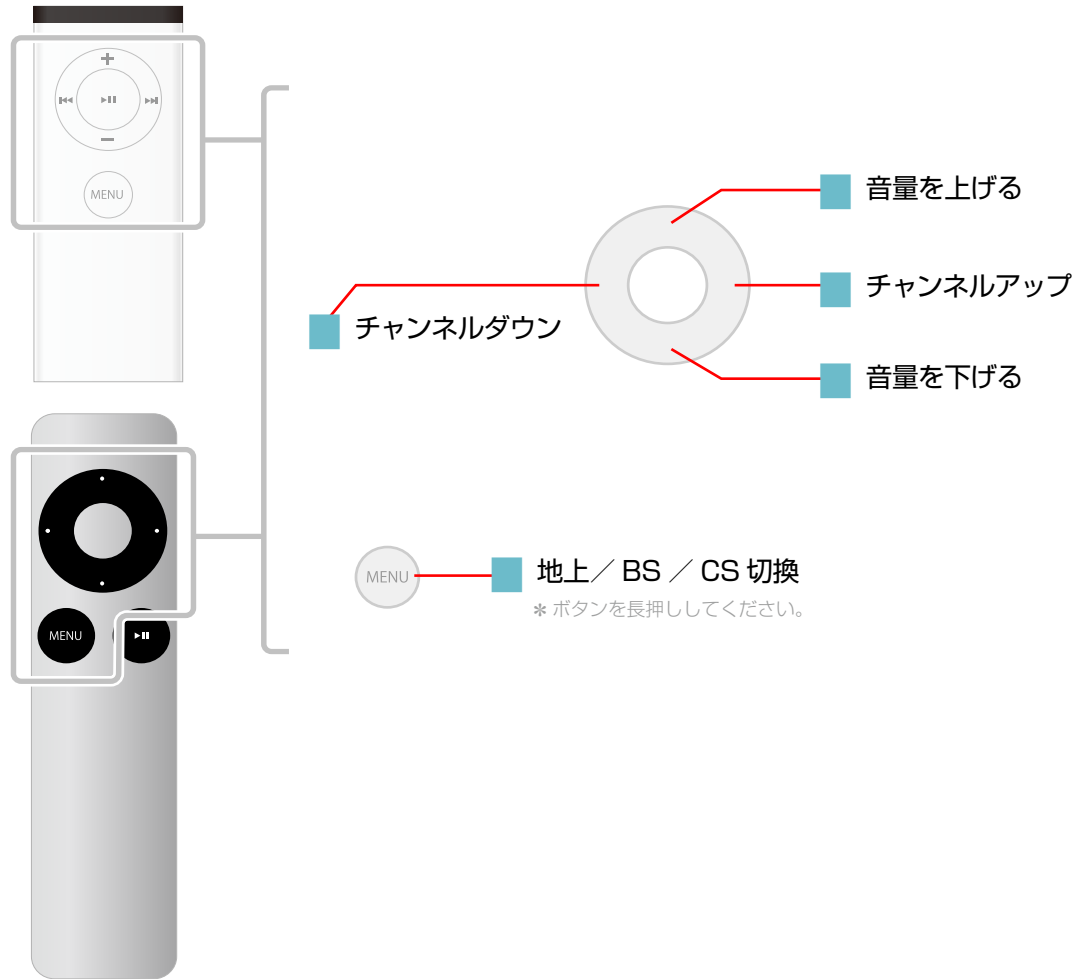
## ヘルプ

検索	この項目は Mac の操作メニューです。
StationTV i ヘルプ	「StationTV i for Mac 取扱説明書」(本書) を表示します。
最新の製品情報はこちら	ピクセラのホームページへアクセスします。

## Apple Remote での操作

StationTV i は、チャンネル切替と音量調節のみ AppleRemote での操作に対応しています。

※ AppleRemote は Apple 社の製品です。





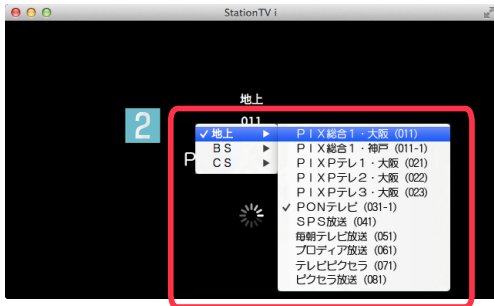
# テレビを見る

## チャンネル切替

チャンネルは3つの方法で切り換えられます。

### チャンネルリストから選ぶ

- 1 キーボードの [control] を押しながら、視聴画面ウィンドウをクリックします。
- 2 チャンネルを選択します。

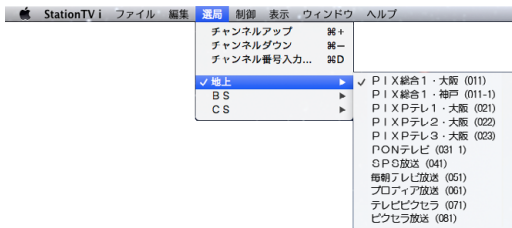


### メニューバー

[選局]

[地上] / [BS] / [CS]

チャンネルを選択します。

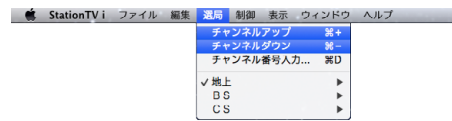



 チャンネルリストはチャンネルスキャン画面 (P.20) で編集できます。

### アップダウンで切り換える

メニューバーから選択します。

- 1 [選局]
- 2 [チャンネルアップ] / [チャンネルダウン]



 選択している放送波のチャンネルリスト内で切り換わります。

### ショートカットキー

[チャンネルアップ]



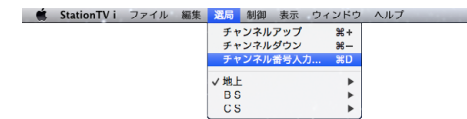
[チャンネルダウン]



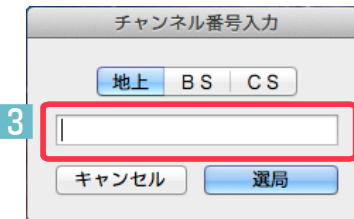
### チャンネル番号を入力して切り換える

メニューバーから選択します。

- 1 [選局]
- 2 [チャンネル番号入力]



- 3 チャンネル番号を入力し [選局] をクリックします。



### ショートカットキー

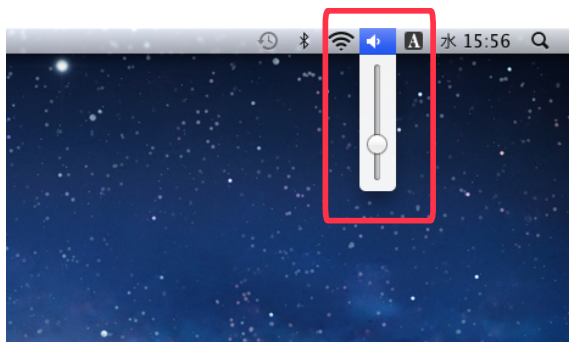
[チャンネル番号入力] 画面を表示



## 音量調節

### メニューバーのスライダーで調節する

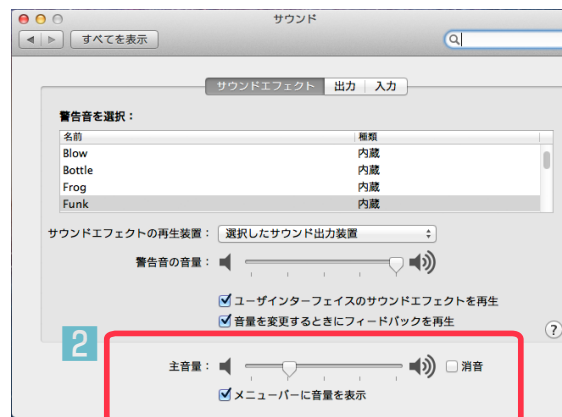
- 音量スライダーで調節します。



- ❗ Mac 本体の音量を操作します。

### システム環境設定で調節する

- 1 [システム環境設定] から [サウンド] を表示します。



- 2 主音量のスライダーで調節します。

- ❗ Mac 本体の音量を操作します。

## ウィンドウサイズ切換

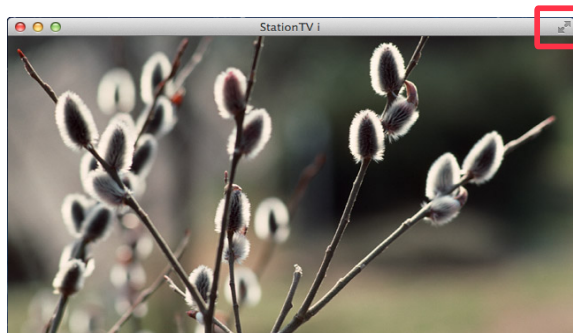
### ウィンドウサイズを変更する

- ウィンドウの端でカーソル表示が [↔] [↕] [↖] などに切り換わったら、ドラッグしてサイズを変更します。



### フルスクリーンで表示する

-  をクリックします。



- ウィンドウサイズを戻す場合は、キーボードの [esc] または [⌘] [F] を押してください。

#### メニューバー

[表示]

[フルスクリーンにする]



#### ショートカットキー



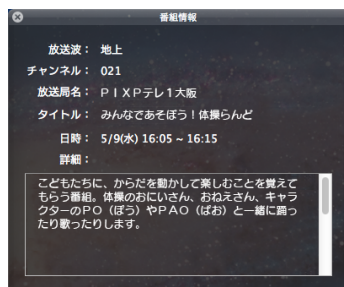
## 番組情報

今見ている番組の情報を表示する

メニューバーから選択します。

1 [ファイル]

2 [情報を見る]



➡ 番組情報ウィンドウが表示されます。

### ショートカットキー



## 字幕表示

### 字幕を表示する

メニューバーから選択します。

1 [制御]



2 [字幕]



3 [第 1 言語] / [第 2 言語]



\* 字幕を消すときは、[表示しない] を選択してください。

- ❗ 字幕に対応した番組でのみ利用できます。また、字幕の内容や言語は番組によって異なります。
- ❗ 番組の字幕に第 2 言語がない場合は、第 1 言語の字幕が表示されます。

### 文字スーパーを表示する

メニューバーから選択します。

1 [制御]



2 [文字スーパー]



3 [第 1 言語] / [第 2 言語]



\* 文字スーパーを消すときは、[表示しない] を選択してください。

#### 🗨️ 字幕と文字スーパーの違い

字幕は、番組内の音声などを字幕として表示します。  
文字スーパーは、ニュース速報や気象警報など、番組とは関係なく表示される情報です。

## 音声切換

番組が複数の音声で放送されている場合に、出力する音声を選ぶことができます。

### 音声を切り換える

メニューバーから選択します。

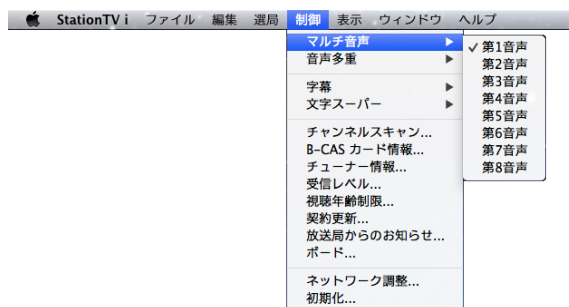
1 [制御]



2 [マルチ音声]



3 [第 1 音声] ~ [第 8 音声]



- ❗ 選択した音声番組に含まれていない場合は、[第 1 音声] で出力されます。
- ❗ マルチ音声を第 2 音声～第 8 音声のいずれかに切り換えて、音声多重の番組を視聴した場合、[主+副] の音声のみが出力されます。

### 音声の種類を切り換える

メニューバーから選択します。

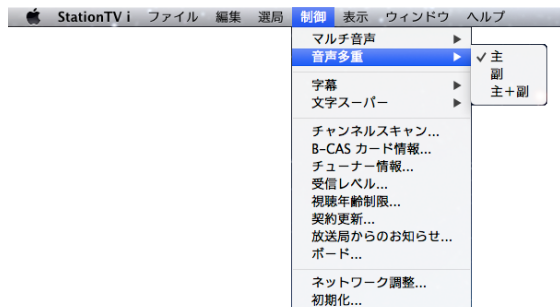
1 [制御]



2 [音声多重]



3 [主] / [副] / [主+副]



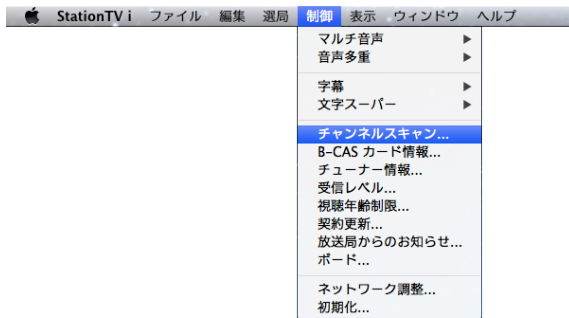
- ❗ 選択した音声番組に含まれていない場合は、[主] で出力されます。
- ❗ 音声多重の設定を切り換えると、設定が適用されるまでの数秒間、映像と音声が表示されません。

# チャンネルリストを編集する

選局時のチャンネル一覧に表示するチャンネルを追加／削除します。

## スキャン済みのリストを編集する

- 1 [制御] メニューから [チャンネルスキャン...] を選択します。



- 2 利用するチャンネルをクリックして、チェックマークをつけます。



- 3 ウィンドウを閉じます。

\* [スキャン開始] をクリックする必要はありません。

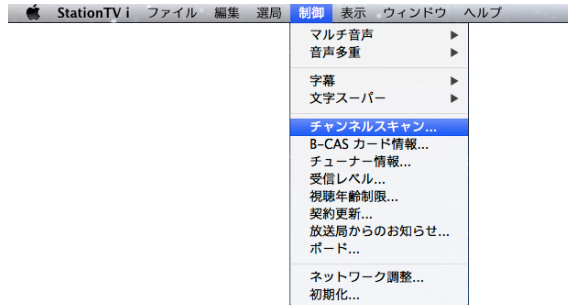
**!** チャンネルスキャンで見つけたチャンネルのみ追加できます。

# チャンネルを再スキャンする

現在、受信できるチャンネルをスキャンします。引っ越しなどで受信する地域が変わったときに使用します。

## チャンネルスキャンをする

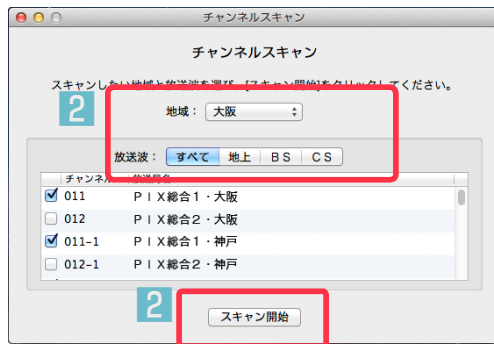
- 1 [制御] メニューから [チャンネルスキャン...] を選択します。



- 3 選局時のチャンネルリストに表示したいチャンネルにチェックマークをつけます。



➡ チャンネルスキャン画面が表示されます。



- 2 受信する地域と放送波を選択して、[スキャン開始] をクリックします。

➡ スキャンの完了まで数分かかる場合があります。画面下部の進捗が 100% になるまでお待ちください。

- 4 ウィンドウを閉じます。

- 💡 デジタルテレビ放送では、放送局の追加や周波数の変更などがあるため、こまめにチャンネルスキャンして情報を更新することをおすすめします。
- ❗ アンテナの受信状態などによっては、これまで使用できていたチャンネルが見られなくなる場合があります。

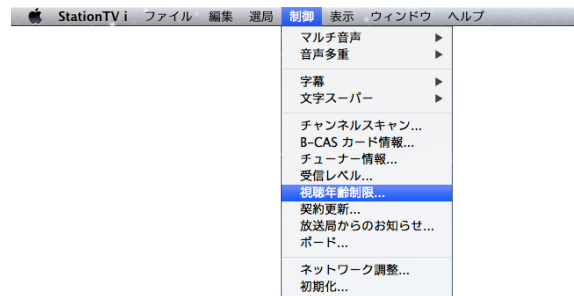


# 視聴年齢を制限する

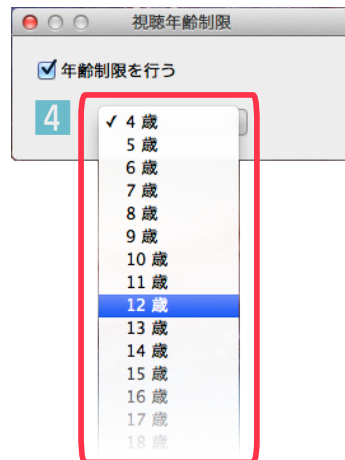
年齢制限付きで放送されている番組に対して、暗証番号が入力されるまで映像を表示させない機能です。対象年齢を設定することもできます。

## 暗証番号を登録して制限年齢を設定する

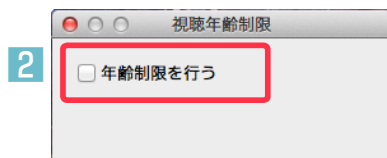
- 1 [制御] メニューから [視聴年齢制限 ...] を選択します。



- 4 手順2の画面で、視聴を制限する年齢を選びます。



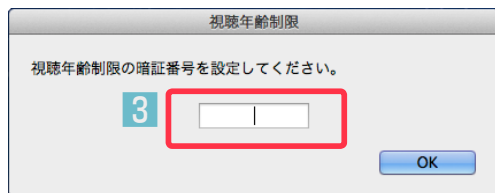
- 2 「年齢制限を行う」にチェックマークをつけます。



- 5 手順3で登録した暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。

➡ 視聴制限付きで放送されている番組を受信すると、映像を出力する前に、暗証番号の入力画面が表示されます。

- 3 暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。



➡ 手順2の画面を開きます。

# ネットワークの設定値を調整する

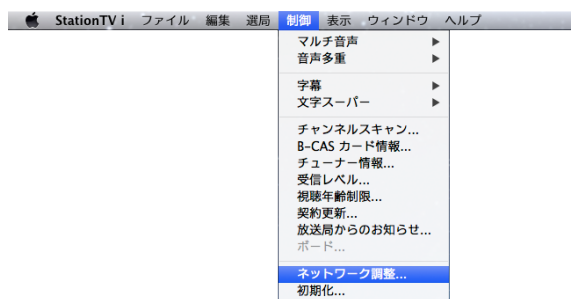
Mac のネットワークの設定値を調整します。

※この設定を変更するときは、Web ブラウザなどのネットワークへ頻繁にアクセスするアプリケーションを終了してください。

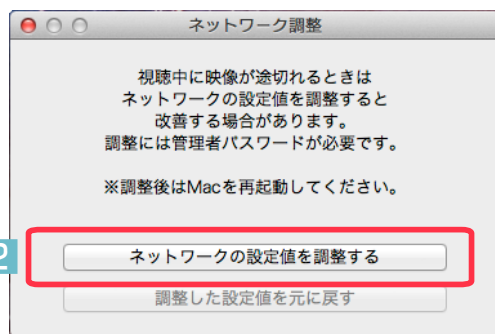
※ OS X v10.8 を使用している場合は、調整する必要はありません。

## 設定値を調整する

- 1 [制御] メニューから [ネットワーク調整 ...] を選択します。



- 2 [ネットワークの設定値を調整する] をクリックします。



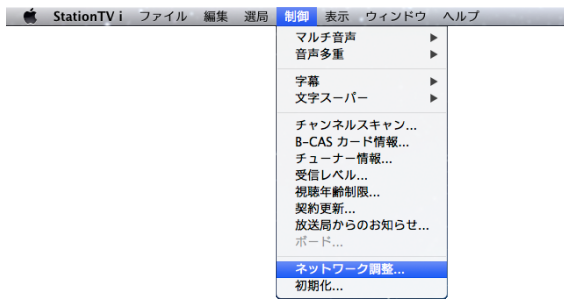
➡ 管理者権限のパスワードを入力するウィンドウが表示されます。

- 3 「名前」と「パスワード」を入力し、[開く] をクリックします。

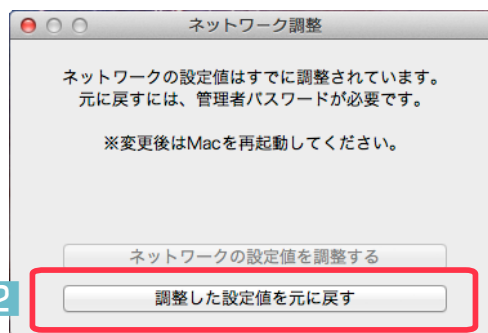
- 4 Mac を再起動します。

## 調整した設定値を元に戻す

- 1 [制御] メニューから [ネットワーク調整 ...] を選択します。



- 2 [調整した設定値を元に戻す] をクリックします。



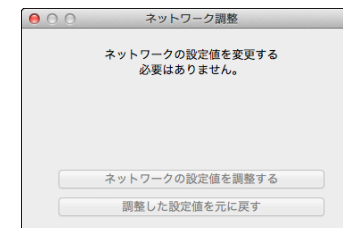
➡ 管理者権限のパスワードを入力するウィンドウが表示されます。

- 3 「名前」と「パスワード」を入力し、[開く] をクリックします。

➡ Mac が設定するデフォルト値に戻ります。

- 4 Mac を再起動します。

💡 他のアプリケーションで設定値を変更している場合  
設定値を変更する必要がないときは、下図のように表示されます。



# 初期化する

各種設定を消去し、StationTV i を初期化します。

## StationTV i を初期化する

メニューバーから選択します。

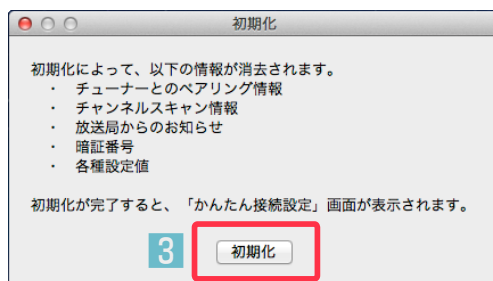
### 1 [制御]



### 2 [初期化 ...]



### 3 [初期化] をクリックします。



初期化すると、以下の情報が消去されます。

- ◆ デジタル TV チューナーとのペアリング情報
- ◆ チャンネルスキャン情報
- ◆ 放送局からのお知らせ
- ◆ 視聴年齢制限で設定した暗証番号
- ◆ 各種設定値

### ? 1 台のデジタル TV チューナーを複数の端末機器 (Mac や iPad、iPhone) で利用したい

↳ 1 台のデジタル TV チューナーに対して、複数の端末機器で利用することはできません。

使用する前に、チューナー本体の「テレビ」ランプが消灯していることを確認してください。また、端末ごとに StationTV i のインストールが必要です。

### ? デジタル TV チューナーの「無線 LAN」ランプが赤点滅している

↳ この場合は、デジタル TV チューナーが誤作動していることが考えられます。コンセントから AC アダプターを抜いて、さしなおしてください。

AC アダプターをさしなおしてもランプが赤点滅する場合は、ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

### ? デジタル TV チューナーのアクセスポイントが見つからない

↳ デジタル TV チューナーの電源が入っているか確認してください。

電源が入っている場合は、Mac がデジタル TV チューナーから離れすぎている、または周囲の通信状態がよくないなどの原因が考えられます。

デジタル TV チューナーに近い場所に移動してください。

### ? Mac の Wi-Fi ネットワーク設定でデジタル TV チューナーのアクセスポイントが 2 つある

↳ デジタル TV チューナーには 2.4GHz 帯と 5.2GHz 帯の 2 つのアクセスポイントがあります。

他の無線機器との重複がない場合は、5.2GHz (ネットワーク名の末尾に「5G」が付いています) を使用することをおすすめします。

### ? 2 台以上のデジタル TV チューナーを同一ネットワーク上で使いたい

↳ 2 台目以降のデジタル TV チューナーを接続する場合は、すでにネットワークに接続しているデジタル TV チューナーをネットワークから切り離してから、新しい方のデジタル TV チューナーのかんたん接続設定 (初回設定) を行ってください。

\* 2 台以上のデジタル TV チューナーが、同時に同一のネットワークに接続されると、どちらも見つけれなくなります。

### ? どれぐらいの距離で使用できる?

↳ 最大 30 m ですが、お住まいの構造 (木造・鉄筋) や使用環境によって変化します。

\* 電子レンジなどの電波を発する機器の近くで電波障害が発生する場合は使用を中止してください。

\* 5.2GHz 帯の周波数 [IEEE802.11a/n (W52)] の電波は屋外での使用が電波法で禁止されています。かならず屋内で使用してください。

### ? デジタル TV チューナーとの通信状態が悪くてテレビが映らない

↳ 通信状態は周囲の環境によって変化します。デジタル TV チューナーと Mac の距離を近づけたり、障害物や電化製品を避けるなど、最適に受信できる場所で視聴してください。

### ? デジタル TV チューナーの通信方法を変更したい

↳ StationTV i を終了し、Mac とデジタル TV チューナーの接続を切ってから、iPad または iPhone などの端末機器にインストールした「StationTV i」で操作してください。

操作が終わったら、Mac とデジタル TV チューナーを接続しなおしてください。

## テレビの視聴

### ? 字幕・文字スーパーの設定が反映されない

↳ 字幕の設定は番組やチャンネルが切り換わったときに適用されます。すぐに適用したいときは、一度、別のチャンネルに切り換えてから、元のチャンネルに戻してください。

なお、文字スーパーはニュース速報などで使用されているため、常に表示されるものではありません。

### ? データ放送は使える？

↳ データ放送の表示には対応していません。また、データ放送専用番組も表示できません。

### ? 家のテレビでは映っているチャンネルが選局できない

↳ 以下の原因が考えられます。

- デジタル TV チューナーを接続しているアンテナの受信状態がよくない。  
(配線を分配している場合は、直接アンテナ線をつないでみてください。また、アンテナ線が長すぎたり、テレビとの接続に問題がないかも確認してください)
- 悪天候など一時的な受信状態の不良のため、チャンネルスキャンでチャンネルが見つからない。
- チャンネルスキャン画面（[制御] メニュー - [チャンネルスキャン]）で、見たいチャンネルにチェックマークを付けていない。

\* 地デジ難視対策衛星放送のチャンネルは、チャンネルスキャン直後にチェックマークが付いていません。

### ? 音が出ない

↳ Mac 本体の音量を「消音」に設定している場合は、音は出ません。

Mac の [システム環境設定] - [サウンド] で [消音] のチェックをはずしてください。

### ? しばらく使用していなかったら、StationTV i で有料放送が見られなくなった

↳ デジタル放送を視聴するために必要な情報が更新されていない可能性があります。

[制御] メニューの [契約更新 ...] で、情報を更新してください。

## その他

### ? StationTV i を使い始めてから、インターネットにつながらなくなった

↳ Mac を Wi-Fi でインターネットに接続している場合に起こります。

[システム環境設定] - [ネットワーク] - [Wi-Fi] の [ネットワーク名] をクリックして、インターネットに接続できるアクセスポイントを選択してください。  
再度、テレビを見るときは、デジタル TV チューナーのアクセスポイントに変更してください。

\* デジタル TV チューナーとルーターを接続すると、アクセスポイントを切り換えしないでインターネットを利用することができます。くわしくは iPad や iPhone などの端末機器にインストールした「StationTV i」のヘルプを参照してください。

### ? Mac を外部機器につないで映像や音声を出力できる？

↳ 外部機器への出力には対応していません。

### ? StationTV i の使用中に Mac のスリープが自動起動しない

↳ StationTV i の起動中は、これらの機能が自動で動作しないように制御されています。

# StationTV i についてのお問い合わせ先

StationTV i についてのご質問・ご相談は、ユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。

## 株式会社ピクセラ ユーザーサポートセンター


受付時間：月曜日～日曜日 10：00～18：00

(年末年始、祝日を除く)

■ 固定電話をご利用の場合：フリーダイヤル

 **0120-727-231** (無料)

■ 携帯電話をご利用の場合：ナビダイヤル

 **0570-064-246** (通話料がかかります)

■ フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用できない場合

\* 24 時間受付 (回答にお時間をいただく場合があります)

FAX：06-6633-2992 (通信料がかかります)

## ホームページ

製品の最新情報やダウンロードなどは、下記のホームページをご覧ください。

<http://www.pixela.co.jp/>

## OpenSSL (SSLey)

This is a copy of the current LICENSE file inside the CVS repository.

### LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact [openssl-core@openssl.org](mailto:openssl-core@openssl.org).

### OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact [openssl-core@openssl.org](mailto:openssl-core@openssl.org).
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;

LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young ([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com)). This product includes software written by Tim Hudson ([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com)).

### Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young ([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com)) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young ([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com)). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson ([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com)).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

"This product includes cryptographic software written by Eric Young ([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com))"

The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

"This product includes software written by Tim Hudson ([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com))"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS \* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence including the GNU Public Licence.



## Remote Control Wrapper

---

Copyright (c) 2006, 2007 Martin Kahr

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.